

意見交換の進め方について(事務局提案)

平成30年度第1回和光市社会教育委員会議

(H30.6.25)

テーマ

「地域社会へ参加できない人にどのようにアプローチをしていったらよいか」

- 1 今回のテーマを今回の会議含めて3回(現委員の任期中の会議)の会議で議論をしていただきます。

(理由)

これまで和光市の社会教育委員会議においては、1回ごとにテーマを変え、意見交換を行っていましたが、今回の会議は、議事が多いことから限られた時間の中であること、また、テーマの幅広さや、去年の会議での委員の皆様のご意見を踏まえると、議論を深めることは難しいと考えています。

- 2 全3回の会議の進め方について

(1) 1回目(本日:H30.6.25)

市の取組について説明した後、事前に周知しましたとおり、「参加する側の立場」・逆に「受け入れる側の立場」からのご意見、また、団体に所属されている方は、それぞれの団体で地域の方に参加・ご協力していただくために工夫されていることなど、皆様のご経験などからお話をさせていただきます。

(2) 2回目(H31.3 予定)

より具体的な展開に進めるため、若い世代とシニア世代などアプローチする対象を分けるなど論点を絞って議論を行います。

(3) 3回目(H31.6 予定)

これまでの意見の取りまとめ

- 3 議論の成果について

文書として取りまとめ、公民館などの社会教育事業を実施していく上で活用したり、状況により、福祉部門等へ情報提供を行います。

また、公民館運営審議会や図書館協議会などにも報告します。